

「10月号特集「イラク 復興、そして成長へ」を読んで」

■日本とイラクの関係が深いことがわかりました。信頼を培うことは年月のかかることです。これを利用して、日本がイラクの復興を支援することが、今後の国際政策上とても大事なことだと感じました。(兵庫県/男性/52歳/公務員)

■池上彰さんのファンなので、とても良い企画だと思いました。日本とイラクのあまり知られていないつながり、日本の協力とイラクの方々が親日的なことを知り、うれしくなりました。「情けは他人のためならず」。これは日本イラク間だけのことでなく、どんな国際協力、または私たちの日常生活にもあてはまることですね。

(長野県/女性/24歳/会社員/鈴木絵未)

■職業訓練センターといえば、日本ではもうすっかり生活の中に根差して当然の思いである。イラクに開校支援との記事に途中の戦争で一時中断されたとのことで、国政がいかに前途を左右するの痛感した。それでもまた、再開されていると知りほっとした。女性の社会進出に貢献度が高いとのことうれしく思った。(愛知県/女性/63歳/主婦)

■イラクを一般的なマスコミ報道とは違った視点からの報告であり、両国間の関係をしっかりと見なおさなければならぬと考えさせられました。とても内容が豊かな記事だったと思います。(北海道/男性/82歳/団体職員/水口忠)

■「JICA's World」が、海外での広義な活動を知らせる広報誌として広く読まれていることが重要。今回の東日本大震災への海外からの支援も多く寄せられた。長い国際協力で培われた相互の信頼は、支援の絆となったと思う。貧しい小さな国からも温かい支援が届けられたことを思い、これからの対外援助が現地地で喜ばれ、日本の元気にもつながることが大事。(茨城県/男性/60歳/団体職員/岡三徳)

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2012年3月15日

Email: jica@idj.co.jp
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① コロンビアの土鍋
- ② 書籍『アマゾンの空飛ぶ日本語教師』(p37参照)
- ③ 書籍『シルク大国インドに継承された日本の養蚕の技』(p37参照)



①



②

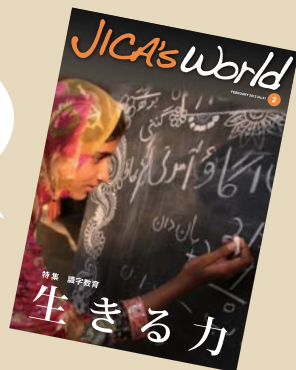
③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp



次号予告 (2012年3月1日発行予定)

リオ+20

1992年にブラジルのリオデジャネイロで開かれた「国連環境開発会議」(地球サミット)から20年。地球環境に対する国際社会、そして日本の取り組みを振り返ります。